

【給食協会賞】大好きな給食

安城南部小学校 小原 千奈

わたしは、給食が、大好きです。わくわくどきどきすることが三つあります。

一つ目は、味についてです。

家の料理は、親がわたしのこのみをしっているから、毎日すきな物ばかり食べられます。だけど、学校は、基本おいしいけど、時どきこのみのときと、このみじゃないときがあります。たとえば、たまご焼きにもいろいろあります。友達の家は、さとうを入れて、あまくするそうです。でもわたしは、あまいたまご焼きがにがだから、わたしがつくるたまご焼きは、あまくせず、だししょう油などを入れて、和風な味つけにします。だから、わたしのにがてな味は、あるけれど、友達のどれかの好きな味になっているかもしれない。

給食は、だれか一人のためにつくっているわけではなく、みんなにつくっているから、にがてな食べ物もでてきます。にがてな物もみんなちがうけれど、にがてな物がでてきて、一口食べると、感動するくらいおいしくて、また一個好きな物が増えることがあるかもしれない。給食は、にがてな物を一口たべるという良い経験ができるから、すてきです。

二つ目は、家についてです。

家でよく学校の給食のことをしゃべります。「今日のメニューに知らない名前があって、こんな風でおいしかったよ。」と、話をしたり、お兄ちゃんと「冷

とうみかんわたし2個食べた。」「おれ3個。おれの勝ち。」ときそったりしています。家で話したくなるくらい給食が楽しくて大好きです。

給食のたのしかった、できごとなどを話して、家の夕飯も楽しく笑顔で食べられます。

三つ目は、給食当番についてです。

給食当番の係の中で冬は、しょっかん、夏は、小バットがおすすめです。しょっかんは、熱いしなほどが入っていて、さむい冬にやるしょっかんの当番は、天国のようにあたたかくて、おすすめです。

夏のしょっかんの当番は、熱くて、しかも手ぶくろをしなきゃいけないので、じごくのようです。でも小バットは、基本サラダが入っていることが多く、熱くないから、夏には、さいこうです。だから、当番選びは、大事です。

わたしは、うまれたときから、食べるのが大好きで、今もかわりません。その大好きなことが学校でも毎日できます。